



# 帰国研修員便り

## 【アクションプラン近況報告】



Konnichiwa... How are you SUETA-SAN and MAFUMI-SAN  
I hope that all is OK for you your families and japan in general.  
I followed seriously all the natural disasters that has suffered japan this summer (floods, heat waves...) but in the same  
time i was sure that the big and impressive people of japan will overcome this problems.  
my stay in japan is in my mind every days, i try to communicate my experience to many persons and I try to learn what  
I learned inside and outside JICA in this country .

ヒシエムさん（チュニジア帰国研修員）からアクションプランの近況報告が届きました。

- 1) コースリーダー： 末田 元
- 2) 現地活動報告 : Mr. SANDLY Hichem  
(チュニジア帰国研修員)

2019年1月20日

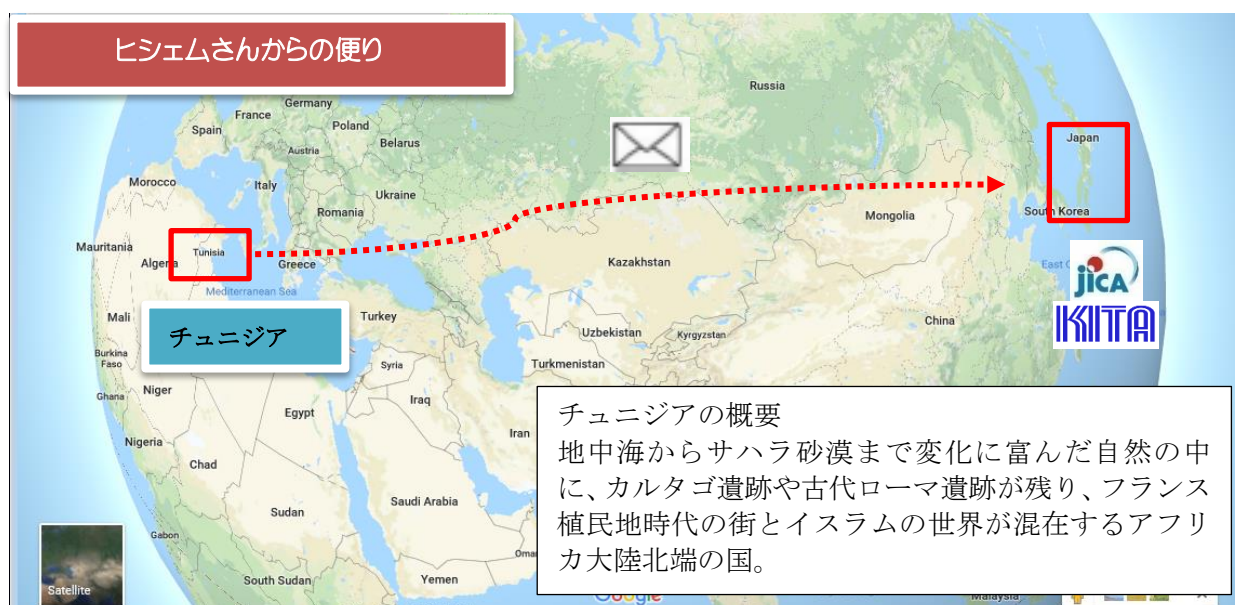
(公財) 北九州国際技術協力協会 (K I T A) 研修部

JICA/KITA 技術研修に参加したヒシエムさん（チュニジア帰国研修員）からアクションプラン実行の近況報告が届きました。

今回ご紹介する帰国研修員便りは、2017 年度：研修「下水道システム維持管理(B)」コースに参加されたヒシエムさんの帰国後アクションプラン近況報告です。

## 1. 今回レポートが届いた帰国研修員の紹介

名前(通称)	写真	氏名	国名	研修期間
ヒシエムさん		Mr. SANDLY Hichem	チュニジア	2018/1/12～ 2018/2/23



## 2. 研修時の写真



世界各国から派遣された研修員（8名）の皆さんは、北九州市（JICA九州）に集まり、「下水道システム維持管理」について勉強しました。

### 3. 末田コースリーダーよりメッセージ

昨年 11 月に小冊子 KITA ニュース\* (英語版) が出版され、その表紙に私達研修グループの写真が飾られました。又、小冊子の中に、この研修についてのコメントを書きました。この KITA ニュースを読んでもらうべく研修員全員にメール発信をし、同時に、帰国後の活動状況について報告をお願いしました。私のお願いに応えてくれたのがヒシエムさんです。



研修員の皆さん (JICA 九州玄関口にて)

小冊子 KITA ニュース\*

・北九州国際協力協会(KITA) が年 4 回発行している機関紙 (日本語版 2 回、英語版 2 回)

ヒシエムさんは工場排水を受け入れている下水処理場に勤務しており、下水道への間接続、規制を守らない工場、オイル・グリースによる管渠閉塞問題等で対策に苦慮しているようでした。しかし、研修科目全体の中で工場排水規制に関する割合は少ない状況です。このためもう少し工場廃水関係の情報がほしがっているようだ、というコーディネーターさんからのアドバイスもあり、「振り返りの時間」に工場廃水を下水処理場につなぎ込むことの問題点を中心に情報提供を行ったりしました。研修全体が満足いく内容になったかどうか心配でしたが、アクションプランの発表では、汚染企業のリスト作成のために簡易水質試験方法の PACK TEST 使用する、下水道施設に与える影響度の度合いで事業所監視優先度を考えるなど、研修で得た知識を十分に利用していました。

今回のレポートを見ると、多くの工場の立ち入り検査を実施している様子がうかがわれます。チーズ製造工場やセメント工場などは、アクションプランでも述べられていた負荷量の大きい工場を優先的に検査する方針の表れかもしれません。

工場に排水基準を守らせることは至難の業です。特に、下水管に接続している場合は排水の状況が見えなくなるため指導はより一層困難になります。このため、組織全体で立ち向かう姿勢が是非とも必要です。規制がしっかりしてくると下水道施設の維持管理が容易になり、ひいては水環境改善や保全に寄与することになります。今後のヒシエムさんの活躍を期待しています。



研修に参加した研修員の派遣国とコース担当者の紹介

## 4. ヒシエムさんからの便り



Konnichiwa・・・末田さん、

2018年11月26日

いかがお過ごしですか。

末田さん、ご家族、そして日本のすべてがうまくいっていると願っています。

この夏に日本を襲った洪水や熱波などの自然災害にも心から心配しています。しかし同時に、賢くて堂々とした日本の人々はこれらの問題に打ち勝つであろうと信じています。わたくしの日本での滞在のことはいつも私の心の中にあります。日本での JICA 内外で学んだことや私の経験を多くの人たちに伝えようとしています。

末田さん、寂しく思っていますよ。あなたは研修グループの中で私たちの父親のようでしたし、今でもそう思っています。あなたがチュニジアに来ることを願っています。私の自宅にご招待したいです。

あなたから送られてきた KITA で準備されたレポート用紙に 2 枚の写真を添付しています（もっと必要でしたらお知らせください、仕事に関する写真はいっぱいありますので。）

1 か月で 30 の工場監視をするため一か月間公用車の利用ができるようになりました。写真をよく見てください。車は、2002 年製の MITSUBISHI L200 です（古いですが非常に力強いです）。

レポートに添付した 2 番目の写真は、JICA でいただいた安全靴です。(hhhhhhhhhh) .

返事が非常に遅くなってごめんなさい。

DEWA MATA

Hichem sandly (ヒシエム サンドウリ)

チュニジア 国家衛生公社 (ONAS TUNISIA)

末田さん、お変わりありませんか。

2019年1月13日

私は、初めての子供を授かりました。女の子で名前は SALMA です。

娘は早産となったため、12月は大変ハードな年末となりました。

新たに父親になった喜びと娘の健康の心配が交差する日々となりました。新生児集中治療室で11日間過ごした SALA は、12月20日に元気に回復しました。

神に感謝します。そして私の家族と友人、大変お世話になった専門的な医療スタッフに感謝します。

DEWA MATA

Hichem Sandly (ヒシエム サンドウリ)



愛娘の SALMA ちゃん

## 帰国後の活動報告

### 工業排水の管理

チュニジアの首都の南部地区にある全ての工場排水を取り締まる責任があるため、私達は、私が日本での研修で作成したアクションプランに基づき地域にある工場の取り締まり回数を増やし、不正をする人たちや汚染水を排出する工場に対して必要な処置を行っています。

#### 1) セメント工場の水質管理（事例1）

セメント工場からの水質監視のため逆浸透施設からの試料を採取しています。  
また、公共用水域でも採水を行い必要な水質データを把握しています。



#### 2) チーズ工場の水質管理（事例2）

手仕事でチーズ製造をしている、環境汚染の疑いがある工場への立ち入り調査です。  
調査の結果、良い条件で品質の良いチーズを製造していることが分かりましたが、製造過程から発生する廃水は処理されておらず、公共用水域へ放流されています。  
最終的には廃水処理施設の導入が必要ですが、そうすれば工場の閉鎖ということにもなりかねません。



他の写真も同封します



測定器（酸素計）のメンテナンス



顕微鏡で活性汚泥中の微生物を観察中  
(私の FUJITSU 製ラップトップです)

以上

## 6. JICA-KITA 受入研修時の思い出

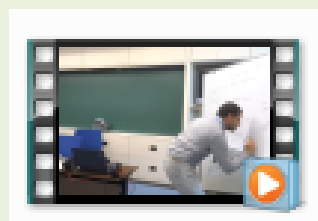
研修中のヒシエムさん（ピックアップ）

(2018/1/12~2/23)



研修「振り返り」のグループ学習

【ヒシエムさん研修時のビデオ特集】



画像をクリックしてビデオを鑑賞下さい。  
(約2分)



講義終了後の記念撮影



「振り返り」のグループ代表発表



ジョブレポート発表会にて



下水管検査法の実習



油分離槽実演研修